

第 36 回日本言語テスト学会研究例会

テーマ： 日本人英語学習者の特性に合った英語ライティング指導を目指して
～自動採点プログラムと能力プロファイルによる評価の活用～

日時 2013年1月26日(土) 13:30～17:00
会場 早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 502教室
(キャンパス地図: www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html)
入場 要予約(詳細は下記参照) JLT A 会員無料、当日のみ参加 500円

講演: 13:30～14:40

Criterion®を活用したライティング教育が示唆する大学英語教育の可能性 鈴木利彦 (早稲田大学)

概要: 本発表では、発表者が英語エッセー自動採点プログラム Criterion®を活用して実施している「英語ライティング」の授業に関して、(1)Criterion 導入の背景、(2)授業で実証された Criterion の有用性、(3)実際の授業での活用例、(4)指導効果の検証、(5)Criterion 活用の今後の指針: 21世紀の大学英語ライティング(発表者の試み)、について報告を行う。

研究発表 1: 14:45～15:15

英語ライティング自動採点システムを導入した授業デザインの評価 松本佳穂子 (東海大学)

概要: 英語ライティング自動採点システムを導入した3種類の授業デザインによって、一学期間指導した後の学生の伸びを比較すると同時に、教員と学生にそれら进行评估させた。本発表では、アンケート・データに基づいて、各授業デザインの効果、教員と学習者の反応の3つの側面から、大学生の指導に最適と思われる授業モデルを考察する。

研究発表 2: 15:25～15:55

日本人英語学習者のライティング能力プロファイル作成の試み 工藤洋路 (東京外国語大学)

概要: 現在、CEFR のレベルごとに、学習者がライティングの中で使用可能な文法や語彙などの基準特性のリストを開発する試みが進行しているが、学習者の母語によって基準特性が異なる項目も見られる。本発表では、日本人英語学習者のライティング能力の基準特性について議論してみたい。

ディスカッション: 16:00～17:00

懇親会: 17:30～19:30

主催: 日本言語テスト学会 (Japan Language Testing Association)
参加申し込み: 氏名(所属)、連絡先Eメールアドレス、懇親会参加希望を添えて、1月24日(木)迄早稲田大学澤木泰代 (Eメール: ysawaki@waseda.jp)宛にお申し込みください。